

平成29年4月3日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年3月31日（金） 16 時 7 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月1日（土） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	1,280	
	制御設備量 [※]	1,686	
最大余剰電力 発生時点の 予想需給状況	エリア需要予想	15,900	
	発電出力合計	17,180	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	8,930
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以上

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月1日（土） 16 時 7 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月2日（日） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	2,150	
	制御設備量 [※]	2,544	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	15,900	
	発電出力合計	18,050	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	9,800
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月2日（日） 16 時 8 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月3日（月） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	12時	
	出力制御必要量	1,470	
	制御設備量 [※]	2,554	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	16,600	
	発電出力合計	18,070	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	9,000
		自然変動電源	9,070
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月3日（月） 16 時 6 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月4日（火） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	580	
	制御設備量 [※]	1,000	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	16,500	
	発電出力合計	17,080	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	9,000
		自然変動電源	8,080
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月11日（火） 16 時 8 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月12日（水） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	1,840	
	制御設備量 [※]	2,336	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	16,700	
	発電出力合計	18,540	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	9,000
		自然変動電源	9,540
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月12日（水） 16 時 8 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月13日（木） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	1,670	
	制御設備量 [※]	3,448	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	16,700	
	発電出力合計	18,370	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	9,000
		自然変動電源	9,370
その他		—	
その他	—————		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月13日（木） 16 時 10 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月14日（金） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	1,760	
	制御設備量 [※]	2,586	
最大余剰電力 発生時点の 予想需給状況	エリア需要予想	15,900	
	発電出力合計	17,660	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	9,410
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月18日（火） 16 時 21 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月19日（水） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	2,350	
	制御設備量※	3,204	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	15,900	
	発電出力合計	18,250	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	10,000
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月22日（土） 16 時 05 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月23日（日） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	2,360	
	制御設備量 [※]	2,680	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	15,400	
	発電出力合計	17,760	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	9,510
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月27日（木） 16 時 9 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月28日（金） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	2,280	
	制御設備量 [※]	3,444	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	15,900	
	発電出力合計	18,180	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	9,930
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月28日（金） 16 時 14 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月29日（土） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	12時	
	出力制御必要量	2,430	
	制御設備量※	3,340	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	15,500	
	発電出力合計	17,930	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	9,680
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]

指示日時	平成29年4月29日（土） 16 時 14 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年4月30日（日） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	2,800	
	制御設備量※	3,444	
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想	15,400	
	発電出力合計	18,200	
	内 訳	水力	—
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250
		自然変動電源	9,950
その他		—	
その他	—————		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値